

令和7年度宮城大学アカデミック・インターンシップ実施要領

1 目的

- (1) 高校生に「宮城大学での学び」に触れてもらい、「深い学び」について考えてもらう機会や自己の進路に対する目的意識を高めてもらう機会を提供するもの。
- (2) 宮城大学での授業を通じ、宮城大学で学ぶことの魅力や学問の深さ・探究心を養ってもらう契機とするもの。

2 日程

- (1) 令和7年8月7日(木)(全学群)
- (2) 令和7年8月20日(水)(事業構想学群 未来志向型アントレプレナー育成プログラムコース)
※事業構想学群の受講生は(1)か(2)いずれか一方の日程での受講となります。

3 会場

受講する学群	受講する場所
看護学群 事業構想学群	宮城大学大和キャンパス(宮城県黒川郡大和町学苑1番地1)
食産業学群	宮城大学太白キャンパス(宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号)

4 募集対象

進路を定める準備段階にある高校2年生とし、かつプログラム参加に意欲ある生徒とします。

※高校1年生及び3年生は申込できません。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

5 開講科目(全学群) (8月7日(木)実施分)

(1) 基盤教育科目

① 大和キャンパス(看護学群及び事業構想学群:全受講生必修)

「映画の英語を理解して使おう！」

講師 マシュー・ウィルソン 先生(基盤教育群担当)

日時 令和7年8月7日(木) 9:45~10:45

場所 大和キャンパス 大講義室

【概要】

映画は、自然な英語表現を学ぶのに最適です！本講座では、有名な映画のシーンからよく使われるフレーズを取り上げ、それらの意味や使われる状況を理解し、会話の中で実際に使う練習をします。本物の英語をまねることで、楽しくリスニングとスピーキングのスキルを向上させましょう。最後に、英語が好きな人も苦手な人も問わず、英語力を伸ばすためのアドバイスを学びます。

② 太白キャンパス（食産業学群：全受講生必修）

「オイラーの多面体定理 — 1,2 次元トポロジーから幾つかの話題」

講 師 三浦 幸平 先生（基盤教育群担当）

日 時 令和 7 年 8 月 7 日（木） 9：45～10：45

場 所 太白キャンパス 大講義室

【概要】

数学 A の「図形の性質」では空間図形である多面体に対して「オイラーの多面体定理」が成り立つことを学んだと思います。この講義では、この定理を平面上で考え直したり、あるいは平面上の問題を空間図形上で考え直したりしてみます。特に、平面上で出来る/出来ないことが、ある空間図形上では出来ない/出来ることとして交錯するシーンを幾つか紹介します。数学のシンプルなストーリーを通じて「ある状況では不可能だが、別のどのような状況では可能となるか」という課題解決の一つの思考方法を皆さんと体験出来ればと良いと思います。

（2）各学類専門科目

以下の 6 つのコースから 1 つを選択し、受講します。

【看護学群】（1 講座）

① 看護学群コース

「心身相関と精神看護—リラクゼーションの効果を体験してみよう—」

講 師 小松 容子 先生（看護学類担当）

高橋 葉子 先生（看護学類担当）

日 時 令和 7 年 8 月 7 日（木） 11：00～15：40

場 所 大和キャンパス 302 講義室、ナーシングラボ

定 員 原則 35 名程度

【概要】

「心身相関」という言葉を知っていますか？例えば、緊張すると心臓の鼓動が速くなったり、運動をしたら気分が爽快になったりするなど、こころとからだは切り離せるものではなく、互いに影響しあっています。このことを「心身相関」といいます。

本講座では、心身相関のしくみを紹介し、小型バイオフィードバックの機器を用いた演習をします。バイオフィードバックでは、自分の呼吸や脈拍の状態がグラフィックでリアルタイム表示されます。緊張状態のときや、リラックス状態のとき、呼吸や脈拍がどのように変化するかを観察してみましょう。

【事業構想学群】（3 講座）

※事業構想学群の 3 講座のいずれかを選択した方は初めに『事業構想学群全受講生共通必修科目』を必ず受講し、その後に各学類の講座を受講します。各学類の講座のみを受講することはできません。

『事業構想学群全受講生共通必修科目』

「私たちの考える「事業構想」とは？」

講 師 高山 純人 先生（事業プランニング学類担当）

宮崎 義久 先生（地域創生学類担当）

中沢 峻 先生（地域創生学類担当）

齊藤 祐輔 先生（地域創生学類担当）

友淵 貴之 先生（価値創造デザイン学類担当）

日 時 令和7年8月7日（木） 11:00～12:00

場 所 大和キャンパス 大講義室

【概要】

ちょっと分かりづらくて曖昧な「事業構想」というワードを、教員はどのように捉え、教育や研究を行っているのか。事業プランニング／地域創生／価値創造デザインのそれぞれの視点から、若手教員が事業構想を語ります。掲示板を使つての質問も可能な双方向の講義です。

② 事業構想学群事業プランニング学類コース

「自分の”価値”って何だろう？ ～商品の差別化戦略を通して～」

講 師 高山 純人 先生（事業プランニング学類担当）

日 時 令和7年8月7日（木） 13:00～15:40

場 所 大和キャンパス PLUS ULTRA-

定 員 原則40名程度

【概要】

商品が市場で売れるためには、ライバルには無い独自の”価値”が必要になる。あなたがこの社会で活躍していくためには、ライバルには無い独自の”価値”が必要となる。あなたを1つの商品に例えた場合、どのような商品戦略やプロモーション戦略を取るべきなのか。商品の差別化戦略を通して、価値の創り方を一緒に考えます。

③ 事業構想学群地域創生学類コース

「地域 DX を活用した将来のまちづくり」

講 師 宮崎 義久 先生（地域創生学類担当）

中沢 峻 先生（地域創生学類担当）

齊藤 祐輔 先生（地域創生学類担当）

日 時 令和7年8月7日（木） 13:00～15:40

場 所 大和キャンパス グループ演習室

定 員 原則35名程度

【概要】

ワークショップを通して、地域資源（ヒト・モノ・カネ・情報・空間など）の現状や価値を把握しつつ、地域課題を見出し、その解決策（モノ・コトづくり）や将来の「まち」のあり方について考察します。その際、最新テクノロジーを用いて現状分析や課題抽出等の方法を学び、実際に体験することで、これからの地域情報の収集・扱い方や合意形成のプロセスについて、皆さんと一緒に考えます。

④ 事業構想学群価値創造デザイン学類コース

「身体感覚から導き出す空間づくり」

講 師 友渕 貴之 先生（価値創造デザイン学類担当）

日 時 令和7年8月7日（木） 13:00～15:40

場 所 大和キャンパス 402講義室

定 員 原則35名程度

【概要】

身体感覚と空間スケールについての基礎的な講義を実施したのち、講義室を敷地と捉えてわたしとあなた、わたしたちとあなたたちといった関係性や楽しい、落ち着くといった精神性と結びつく要素、用途に応じた機能性について考え、参加者みなさんが共存できる“まち”をつくってみたいと思います。本ワークショップを通じて、空間を考えるのに必要な要素や自己と他者の差異に気づく機会とし、居心地の良い“まち”とはどのようなものかを考えてみたいと思います。

【食産業学群】（2講座）

⑤ 食産業学群コース①

「甘味がつくる豊かな暮らし ～スイーツを科学し、実感してみよう～」

講 師 笠原 紳 先生（フードマネジメント学類担当）

中村 聡 先生（生物生産学類担当）

日 時 令和7年8月7日（木） 11:00～15:40

場 所 太白キャンパス 生物実験室

定 員 原則35名程度

【概要】

疲れた時につい手を伸ばしてしまう甘いスイーツ。お店には様々なスイーツが並べられていますが、その原料は砂糖をはじめとする甘味料。今では当たり前に入りの甘味料ですが、例えば砂糖が普及していなかった江戸時代の人たちはどんな甘味を楽しんでいたのでしょうか。もし宮城県で砂糖が生産できて、ご当地スイーツを作って売るとしたら、どんなスイーツを作りますか。甘みを化学的に見るとどうなのか、甘みの強さをどうやって表すのか、甘みの世界の歴史から生産・販売まで、広く、深く探ってみませんか。

⑥ 食産業学群コース②

「売れる牛肉弁当を作るには？」

講 師 須田 義人 先生（生物生産学類担当）

丹治 朋子 先生（フードマネジメント学類担当）

日 時 令和7年8月7日（木） 11:00～15:40

場 所 太白キャンパス 204 講義室、バイオ実験室

定 員 原則35名程度

【概要】

弁当という商品は出来立てを食べられるレストランの料理とは違います。仙台牛などの銘柄牛は美味しさで評価されながらも原価が高く、弁当にするには工夫が必要です。牛肉の性質を知り、生産や調理の工夫などを学び、冷めても美味しい弁当として販売する際の技術と戦略を一緒に考えていきます。

6 事業構想学群 未来志向型アントレプレナー育成プログラムコース （8月20日（水）実施分）

※8月7日（木）参加者は重複して受講できません

「テクノロジーを体験し、未来志向で解決策を考えよう」

講 師 高山 純人 先生 他（事業構想学群担当）

日 時 令和7年8月20日（水） 9：30～15：40

場 所 大和キャンパス PLUS ULTRA-

定 員 原則20名程度

【概要】

最新テクノロジーの体験と課題解決の思考法を学ぶ実践的なプログラムです。参加者は、ドローン操作や ChatGPT などの生成 AI などを体験し、技術の特性や活用方法について学びます。また、日頃感じている社会の課題について、テクノロジーを活用するとどのように解決策が広がるか。それを一緒に体験していきます。

オープニング（30分）／ドローン体験（2H）／生成 AI 体験（1.5H）／まとめ（1H）

※テクノロジー体験の内容は変更の可能性があります

7 申込方法等

（1）受講申込は、高等学校で取りまとめた上で行ってください（個人申込は受け付けておりません）。

また、1 高等学校当たりの申込人数の上限は、以下のとおりです。申込人数の上限を超えての申込はできませんのでご了承ください。

なお、8月7日開催のコースと8月20日開催のコースがございいますが、いずれか1日程のみの受講となり、同一の受講生が両方のコースを受講することはできませんので、ご注意ください。

No.	コース名	申込人数上限
1	看護学群コース（8/7 実施）	5 名
2	事業構想学群事業プランニング学類コース（8/7 実施）	5 名
3	事業構想学群地域創生学類コース（8/7 実施）	5 名
4	事業構想学群価値創造デザイン学類コース（8/7 実施）	5 名
5	食産業学群コース①（8/7 実施）	10 名
6	食産業学群コース②（8/7 実施）	10 名
7	事業構想学群 未来志向型アントレプレナー育成プログラム コース（8/20 実施）	3 名
計		43 名

- (2) 申込書類、申込先及び申込期間については、以下のとおりです。

申込書類：

- ・令和7年度宮城大学アカデミック・インターンシップ申込書(word)
- ・令和7年度宮城大学アカデミック・インターンシップ参加希望者名簿(Excel)
- ・令和7年度宮城大学アカデミック・インターンシップエントリーシート(word)

申込先：申込フォームより、ファイルをアップロード（郵送での申込は不可となります。）

申込フォーム：<https://forms.office.com/r/UXHZfzcMZs>

申込期間：5月20日（火）10：00 ～ 6月20日（金）17：00

- (3) 受講講座は第2希望まで指定できます。第1希望と第2希望は異なる学群でも構いません。第2希望まで指定する場合は、第1希望と第2希望の2枚分のエントリーシートを作成してください。
- なお、1高等学校当たり設けている申込人数の上限については、第1希望のコースでカウントしますので、申込書に記載する希望講座の希望人数は第1希望のコースにて記載してください。
- 第1希望のみの申込でも構いません。
- (4) 定員を超えて応募があった場合には、抽選により受講生を決定します。その結果、第2希望のコースの受講となる場合や、受講不可となる場合もありますので予めご了承ください。
- (5) 受講の可否は、7月1日（火）までに各高等学校への受講決定通知により行います。
- (6) 受講を修了した方には、宮城大学から修了証書を交付します。
- (7) 講座に関する受講料は無料ですが、受講に係る交通費等は受講生の負担となります。
- (8) 講座の実施に当たり、宮城大学はレクリエーション損害保険に加入しております。
- (9) 申込書に記載いただいた学校担当者様は、受講決定に係る連絡窓口やレポートの送受をご担当願います。なお、当日の会場への引率は不要です。

8 今後のスケジュール（予定）

5月20日（火）

実施要領等を本学ホームページ等で公開します。

5月20日（火）10：00 ～ 6月20日（金）17：00【申込期間】

申込方法等は、7 申込方法等を参照願います。

7月1日（火）まで【受講決定通知】

講座によっては事前課題に対応していただく場合があります。

8月7日（木）及び8月20日（水）【開催日当日】

受講生には、各会場へそれぞれお越しいただきます。

9月5日（金）【レポート提出期限】

コースによっては、レポートが宿題として課されます。レポートの提出は、各高等学校で取りまとめの上、電子メール又は郵送により行っていただきます。

10月中旬

レポートがあるコースは、提出されたレポートに担当教員がコメントを付して各高等学校へ電子メール又は郵送にて返却します。

9 当日のスケジュール（予定）

別紙をご参照ください。

10 お問い合わせ先

宮城大学高大連携推進室事務局（事務局企画・入試課 企画・広報グループ）

TEL：022-377-8594 Mail：kouhou@myu.ac.jp

※申込は上記7（2）記載の専用フォームよりお願いいたします。